

エントリーする団体名の名称 福岡市	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 道路下水道局博多駅地区浸水対策室
代表者氏名 福岡市長 高島 宗一郎	担当者：徳富 電話 092-711-4526 Fax 092-711-4466 E-Mail h-shinsuitaisaku.RWB@city.fukuoka.lg.jp
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 広報部門①行政広報部門	事例名 雨水整備レインボープラン博多 主要施設完成
--------------------	------------------------------

事例の概要 (適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい)

九州・アジアの玄関口として、多くの都市機能が集まった博多駅周辺地区では、平成11年と平成15年の二度にわたり大きな浸水被害が発生した。

このため三度の浸水を防ぐよう、平成16年度から、雨水を一時的に地下に貯める施設や地面にしみ込ませる施設を取り入れた総合的な浸水対策事業である「雨水整備レインボープラン博多」の施設整備に着手し、平成24年5月末に主要施設が完成、博多駅周辺地区が平成11年と同じ大雨にも耐えられる浸水しにくい安全なまちとなったことを、様々な手法を用いPRしたものを。



平成11年6月29日 博多駅地下街入口

3万トンの雨水貯留管、排水ポンプ場 浸水被害防ぐ施設完成



約3万トンの雨水がためられる貯留管(福岡市道路下水道局提供)

福岡市が11博多駅周辺地区に進めてきた浸水対策事業「雨水整備レインボープラン博多」の主要施設が完成した。雨水貯留管や排水ポンプ場、梅雨入りした8月に供用を開始した。

同市では1009年の大雨は、こうした被害集中豪雨で、同駅近くの地下をめぐり約3000人の地下が水没し、157傷亡をあげて4年かかると見込まれた。2003年の豪雨をめぐっては、約3000人の住居に床上浸水し、同事業は13年度末まで

JR博多駅周辺福岡市が整備



平成24年6月8日 主要施設完成記念式典



地下約18mにある博多北ポンプ場の施設

の計画で、既に山王雨水調整池が完成しており、留管の雨水を調整するポンプは、残っている側溝や、管川に排水施設で、毎秒約15トンを排出できる。山王雨水調整池は07年に山王区で最も大きな浸水被害となった1時間雨量79.0の地下などに造られた。約3万トンの雨水がためられるようになるとしている。

完成した主要施設のうち、雨水貯留管は直径5.5m、長さ2.5mにわたって住吉通りや竹下通りの地下に埋設、市によると、大雨が降った場合にも、3万トンに相当する約88立方メートルの雨水を貯留し、ポンプ場を駆使して、雨水を排水する方針だ。

市は博多区のほか、中央区の天神地区でも浸水対策に着手しており、雨水貯留管やポンプ場を整備する方針だ。

平成24年6月15日 西日本新聞

- エントリー事例の特徴 (下水道インフラの価値を高める上で優れていると思われる点など)
- ・「山王雨水調整池」は、公園を活用した浸水対策及び地域と一体となった取り組みが評価され、平成23年度に「第4回国土交通大臣賞 循環のみち下水道賞」を受賞した。
 - ・主要施設完成式典の開催および事業概要DVDを作成し、各種報道機関(テレビ、新聞、ラジオ)、ホームページ等を通し、市民への広報を行っている。
 - ・国内外からの来客や研修生が来庁された際、当浸水対策事業の事例紹介を行っている。
 - ・シールド工事の施工中に、福岡市民を対象に「トンネル探検隊」を開催。
 - ・福岡小学校5年生の「防災意識を高めるための授業」が第5回国土交通大臣賞を受賞した。